

平成24年度愛知県卸売市場審議会 会議録

1 日時

平成24年12月19日（水） 午前10時から午前11時20分まで

2 場所

愛知名港花き地方卸売市場 会議室

3 出席者

委員 9人

説明のために出席した者 農林水産部長始め 10人

4 審議の概要

（1）開会

委員9名が出席しており、半数以上の出席があるので、会が成立していることを確認

（2）あいさつ

農林水産部長

（3）会長選任

委員互選により会長を選任

（4）議事

①卸売市場をめぐる動向について

②第9次愛知県卸売市場整備計画の推進について

【県の説明】

資料1、2に沿って説明

【質疑など】

（久野委員）

資料1を見ると10年前と比べて市場全体がしぼんでいる。

市場経由率も低下傾向ではあるが、それ以上に全体の取扱量や取扱高が減少している。消費自体が落ちているということか。

（事務局）

消費自体は、人口増加も止まり、高齢化もあり、増加傾向にない。

流通は、卸売市場が主であるが、輸入・直売の増加もあり、いろいろ多様化してきた。卸売市場もそのような中で、消費者のニーズや、売り先・量販店のニーズに対応しているが、全体としてこのような右肩下がりの状況となっている。

（池田委員）

国や県が食育の推進などで、野菜や果物を食べましようとの啓発活動をやっているが、実際統計を見ると個人一人一人が消費する野菜や果物の量が年々減っている。

野菜350グラム食べましようと言っているが、実際は270～280グラムしか食べていない状況にある。そういった状況をみると、消費そのものが減っているのではないか。

(久野委員)

大府市にある直売所の「げんきの郷」は賑やかなので、市場の状況について説明を受けて驚いた。

(池田委員)

直売所については、市場を経由するわけではなく、生産者から直接のルートで入荷するので、市場の経由率が減っている一つの要因にもなっている。

(近藤委員)

豊田の先ほどの説明で、コンテナのウエイトが減った説明を聞いたが、5%だということだが、コンテナ出荷のウエイトが減ったのか。

(事務局)

コンテナの実績数が10年前に比べ7割程度になっている。シェアは数字を見ないとわからないが、現在は5%程度となっている。

(近藤委員)

コンテナのウエイトが減っているとは思わないが。

(事務局)

先ほどの説明の数字はコンテナの数であり、野菜の取扱高についても減っている。

コンテナが減ったのは個選農家が減ったためと考えられる。そういう農家が高齢化で減ったということが影響していると思う。率については確認する。

(生源寺会長)

第9次愛知県卸売市場整備計画は、順調にいつているのか。

(事務局)

市場の移転整備や統合については、今一生懸命取り組んでいる。花き市場については、現在は一部移転なので一元化するという目標を掲げている。

(生源寺会長)

目標年度は27年度か。

(事務局)

はい。

③ その他

特になし

(5) 現地調査

第8次愛知県卸売市場整備計画に基づき整備された、愛知名港花き地方卸売市場を調査

(6) 閉会

以上